

第 16 回 理事会 議事録

1. 開催日時 令和 6 年 3 月 7 日 (木) 15 時 00 分～17 時 10 分

2. 開催方法 (1) TKP 東京駅カンファレンスセンター
ミーティングルーム 3C
(2) Zoom を利用したオンライン会議

3. 出席者

理 事	原口 康弘	
同	浅井 武	
同	長島 博高 (オンライン参加)	
同	山本 幹雄	
同	石毛 俊朗	計 5 名
オブザーバー	梶山 達雄	
事務局	大石 直豪	

4. 議長 代表理事 原口 康弘

5. 議事の経過

事務局が第 16 回理事会開催を宣し、今回の理事会は定款所定数を満たしたので有効に成立する旨の報告があった。

続いて代表理事 原口 康弘より「今年の元日より能登半島地震があり、宮崎県や千葉県でも地震が頻発しており、当工業会としても国交省や自治体などと発災時の対応協議なども今後検討していきたい。一方で国の行政において 4 月より水道行政が厚労省から国交省へ移管されることもあり、当工業会の今後の対応について本日の議題で議論いただくことにしている。コロナ禍を経て一般社団法人として、当工業会が次のステージに進む令和 6 年にしたい。引き続き理事各位のご協力をお願いしたい。」との挨拶があった。

定款第 34 条の定めにより、代表理事 原口 康弘が議長となった。

議長より、定款第 37 条の定めにより、議事録記名人には本日出席の理事全員に記名・押印いただく旨の説明があり、審議に入った。

第1号議案 令和5年度 収支決算額(見込み)/令和6年度 収支予算(案)について
事務局より議案書および参考資料に基づいて、令和5年度 収支決算額(見込み)について詳細な説明があった。その後、以下の質疑が交わされた。

1. 例年の収支バランスはどのようになっているか。

⇒企画記事発刊や特別なイベント等がなければ収支均衡状態を維持している。また臨時会費を収入に組み入れ用途に応じて支出を行っていたため、収支ともに額面が過大となるため、次年度より科目仕訳を変更する。

今後も収支均衡状態を維持し今期末見込み額程を残し、大きな支出が必要な際に活用していくこととした。

続いて、事務局より令和6年度 収支予算(案)について詳細な説明があった。その後、以下の質疑が交わされた。

1. 毎月発刊されている JGMA 情報はデータ化し議案書も両面複写でコスト削減に繋がった方が良い。

⇒後の議案でも説明するが JGMA 情報は4月よりデータ配信し、今後の議案書も両面複写とする。

2. 行政の移管統合への対応で発生するコストについてはどのように考えるか。

⇒特別活動費などとして概算支出計画を社員総会で示すように進める。

以上で第1号議案を終えた。

第2号議案 令和5年度 各委員会報告及び令和6年度 各委員会事業計画について
事務局より議案書に基づいて、令和5年度 各委員会報告及び令和6年度 各委員会事業計画について詳細な説明があった。

更に、議長から以下についての課題に関する補足説明があった。

1. 管路診断コンサルタント協会との相互賛助入会と、共同で行っている研修会の開催、水道行政移管統合に関する中小事業体に対する協働活動について

2. JSWAS G-4 規格改正に伴う今後の進め方について

3. マンホールサミットへの協力と社会貢献などの意義について

4. ウォーターPPP 導入の考え方と中小事業体の受け止め方の把握と当工業会の対応について

5. 既設 GM 数の正確な把握に関して国交省への申入れと把握調査を通じた事業体の GM 改築意識の醸成について

その後、以下の質疑が交わされた。

1. 能登半島地震における災害用マンホールトイレの活用はどうだったか。

⇒広報室員が日本トイレ研究所と現地調査した結果、車輻型トイレや仮設トイレは活用されていたが、能登半島ではマンホールトイレの活用場面はなかった。

以上で第2号議案を終えた。

第3号議案 令和6年度 主要活動日程について

事務局より、議案書および参考資料に基づいて、令和6年度 主要活動日程について詳細な説明があった。

尚、確定していない9月の理事会について議論を行った結果、事務局で再度検討して開催場所等を改めて案内することとなった。

以上で第3号議案を終えた。

第4号議案 上下水道行政の移管統合に沿った当工業会の対応について

事務局より、議案書及び別紙に基づいて、上下水道行政の移管統合に沿った当工業会の対応について詳細な説明があった。

更に議長より、今回の検討に至る経緯と行政の変化への対応と今後の進め方について補足説明があった。

その後、議論を行い、行政の上下水道統合も見据え、今後の水道用鉄蓋の規格改正や上下水道用鉄蓋の老朽化対策などの活動は、上下水道用鉄蓋の製造者団体が統合して進めることが必然であると理事全員の賛同があり、団体統合が議決された。

本件決議を受けて、6月の社員総会の前までに理事会社以外の会員社に、会長と事務局で団体統合の説明を行うこととなった。

以上で第4号議案を終えた。

第5号議案 ホームページの閲覧状況について

事務局より、議案書に基づいて、ホームページの閲覧状況について詳細な説明があった。

以上で第5号議案を終えた。

第6号議案 その他

事務局より、JGMA 情報の電子化及び年賀状の廃止案について詳細な説明があった。

本件について理事に諮ったところ異議はなく、JGMA 情報の電子化と年賀状の廃止について議決された。

以上で第5号議案を終えた。

以上をもって、本日の議案審議を終了し、事務局より閉会を告げた。

この議事録を証するため、議長及び出席理事は次に記名押印する。

令和6年3月7日

一般社団法人 日本グラウンドマンホール工業会

議長 原口 康弘



出席理事 浅井 武



同 長島 博高



同 山本 幹雄



同 石毛 俊朗

